



## 「裁縫雛形」に関する研究と「裁縫雛形」を用いた洋裁教育のための教材開発

キーワード

裁縫雛形, 洋裁, 洋裁教育, 動画教材, 裁縫教育史

### 研究内容

本学の校祖である渡邊辰五郎先生が明治時代に考案した「裁縫雛形（国重要有形民俗文化財）」について、その歴史的背景と当時の縫製方法について研究を行うと共に、「裁縫雛形」を現代の洋裁教育に活用した教材開発も行っています。

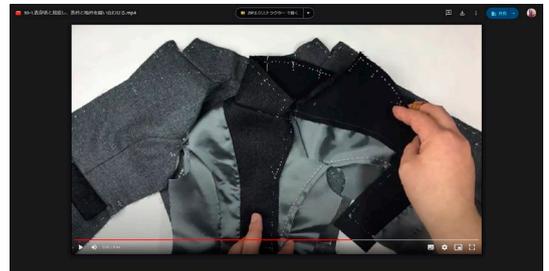
「裁縫雛形」は明治時代に考案されたため、過去の教材のように思われますが、現在の洋裁教育でも教材としての効果が期待できます。例えば、動画教材を作成する際、撮影する作品が小さいために、作品全体の撮影が容易にできます。作品全体を映し出すことによって、どこの作業を行っているのか理解しやすいことが調査研究の結果、明らかになっています。今後も「裁縫雛形」を用いた洋裁の動画教材を作成していく予定です。



1928（昭和3）年頃に製作された裁縫雛形（ハーフサイズ）をフルサイズで製作した作品。

### 関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・杉野公子, 「裁縫雛形女兒服の実寸大レプリカの製作 - 1920年代の東京女子専門学校における洋裁教育内容の検討 -」, 『服飾学研究（作品編）』Vol.3, No.2, 服飾文化学会, 2020, pp.53-62
- ・杉野公子, 「第二次世界大戦前後の裁縫雛形を用いた裁縫教育の変遷 - 渡辺学園の場合 -」, 『服飾学研究（論文編）』, Vol.5 No.1, 服飾文化学会, 2022, pp.13-22
- ・杉野公子, 「裁縫雛形を活用した服飾造形動画教材の効用 - 新型コロナ禍におけるオンライン授業への取り組みの中から -」『ファッションビジネス学会論文誌』, Vol.27, ファッションビジネス学会, 2022, pp.57-69



「服飾造形III」の授業で実際に使用しているジャケット（ハーフサイズ）の動画教材。

### 社会連携・産学連携の可能性

家庭科（衣生活分野）の教育プログラム・教材の開発について連携が可能です。